

高畠町地域公共交通会議 会議録

令和 7 年 2 月 1 8 日

【記録者】

企画課企画調整係 主事 高橋 瑞基

会議期日	令和 7 年 2 月 1 8 日（火） 午後 1 時 3 0 分 ～ 午後 2 時 3 0 分
会議場所	役場 第 1 委員会室
出席者	別紙名簿のとおり
(進行:八巻企画課長) <u>1. 開会</u> <u>2. 会長挨拶（深瀬副町長）</u> <u>3. 報告（鈴木課長補佐）</u> ○高畠町地域公共交通会議について 本日の会議では過半数の出席があることから、要綱第 6 条により会議を有効に開催するものである。 <u>4. 協議（座長:深瀬会長）</u> ○高畠町デマンド交通の公立置賜総合病院延伸便実証事業の結果について （阿部主事） 資料No. 2 について説明を行った後、 質疑応答・協議を行った。 <u><質疑応答・協議内容></u> ◆稼働率は46％程度であったようだが、1回乗車人数は1～2 名か。（遠藤様） ⇒お見込みのとおりである。 ◆思ったより人数少なく感じた。社協でも地域の支え合いの移動手段を考えるが、住民同士の取り組みは難しい。デマンド頑張ってくださいありがたい。アンケート裏面にもあるようにデマンドタクシーの台数増やして頑張ってもらいたいと考える。（神保様） ◆年齢重ねると運転できなくなること考えると公共交通は大事と考える。利用者数については周知が足りなかったのか。その辺りを把握していく必要があるのではないか。超高齢化社会なので、置総まで運転不可能な方がいる。私も比較的元気な方だが不安を感じる。充実した公共交通をお願いしたい。（菅野様） ◆時期がコロナ禍で利用者も増えなかったのではないか。 入院患者に会いに行けずに利用者が減っている。今やったら利用者は増えると思う。面会、医師との相談が制限された状況があった。（武田様）	

- ◆思ったより利用者が少なかった。げんき館まで行くのが大変で、糠野目の人からすると負担だったかもしれない。(川合様)
- ◆町長公約なのでみんな知っていると思ったが意外と少なかった。
初日に山新記者が乗って新聞にも取り上げてもらったが、想定よりも乗らなかった。こちら事前にアンケートを取ってニーズを把握した上で実施した経過がある。タクシー会社3者でもどのくらい置総まで通院している人があるのか話し合った。料金の面でタクシー通院できず、支援に頼らなければならない人があるのは事実。困っている人に上手く利用してもらえなかったのではないかと、伝えられなかったのではないかと考えている。
今後何らかの形で支援していかなければ医療難民が出てくる。(山村様)
- ◆実証実験便知らなかった。他の町民も知らない人いると思う。もう少し何らかの形で町民の目に入ればよかったと感じた。(黒田様)
- ◆福祉有償運送で実際に通院サポートに関っている中でも、置総は特殊な患者や重篤な患者が多い印象である。そういう方の診察の前には必ず検査が必要となり、8時半に出たのでは間に合わないことが考えられる。ただ中身的には素晴らしい実証実験便だと感じている。町がどれくらいのお金を投入したのかは気になる。置総受診者は高畠病院ではできない治療や手術をした後、高畠病院に転院して自宅に戻る方が多い。昔よりもスムーズに自宅に帰ることができるようになり、今後の利用を考える上でも材料となるが。お金の面でも考えていく必要があり、町負担が少なく実現できるとよいと考える。(佐藤様)
- ◆アンケート見ると「置総でなければならない」が一番多いとのこと。実際には乗りたい方はたくさんいて、げんき館に行けない、時間帯が合わない人があると思う。糠野目の話が出たが、停留所を複数設定したり、商店街を回ったり、コースを考えていただけるといいのではないかと。
稼働率が50%を下回ったとのことで、週2回の運行にして、利用者の方にも利用できるような日程を予約いただくことや置総からも日程に合うような日時に配慮いただくこともいいのではないかと。
時間帯についても最終便に乗れなかった方いるかもしれないので、利用者に合わせた時間設定があると利用者が増えていくのではないかと。(竹田様)
- ◆実証運行として様々な課題が出てくるのは大きな意義である。次をどうしていくのかの材料となる。こういった地域交通が無理のない形なのか、意義深い実験結果である。公共交通計画の策定にも参考となるデータと思う。夏と冬で結果の違いがあるのか調べると参考になるかもしれない。(遠山様)

○高畠町地域公共交通計画(仮称)の策定について (阿部主事)

資料No. 3 について説明を行った後、 質疑応答・協議を行った。

◆計画が漠然としていてイメージしにくい、他の市町村の計画を見せてもらえるとイメージしやすい。(山村様)
⇒他の市町村でも策定されているので、次回以降共有させていただく。

◆県内の策定状況について、現在5市町村で策定中。町村では西川町のみ。高畠町で策定するのは意義深い。策定意義を申し上げると、今後こういう地域交通を目指すし、その目標に向けてこういう取り組みを進めますというようなものである。住民でも交通について不安を感じている方がいる。策定により継続的な取り組みが可能となる。
計画については町で一方向的に作るのではなく、幅広く関係者の方よりご意見をいただきつくっていくものである。計画があることによるメリットも大きく重要なものである。今後もよろしくお願いしたい。(遠山様)

5. その他

なし

6. 閉会

以上